

歯科ビッグデータ活用の未来に向けて

2022年

—WEB開催—

日時

2月20日 13:00-15:30

■場 所：ZOOMウェビナー

■参加費：無料（事前申し込みが必要です。申込期限2月17日）

■対 象：歯科医療関係者の皆様

（歯科医師、歯科関係ベンダ、大学歯学部関係者等）

日本歯科医師会、関係団体のご尽力により「口腔診査情報標準コード仕様」が厚生労働省の保健医療情報分野の標準規格に制定（令和3年3月26日付）されました。

この規格は、歯科診療情報の標準化を進め、歯科診療情報データベースの構築や歯科診療情報の利活用を目的として策定されました。災害時等において、身元不明遺体が有する歯科所見と歯科医療機関が所有する生前の歯科診療情報を照合・鑑定することによる身元確認や研究・地域連携・PHR等への活用が期待されております。

本研修会では、歯科医療関係者の皆様（大学関係者、歯科医師、歯科関係ベンダ等）に歯科診療情報の標準化・データベースの意義、必要性、活用可能性について理解を深めていただき歯科診療情報データベース構築の基盤作りを進めていく事を目的として開催いたします。

大変ご多忙な時期とは存じますが、ご参加いただけますよう心よりお願い申し上げます。

プログラム

■ 開会あいさつ（厚生労働省 歯科保健課）

1	歯科情報の利活用推進の経緯について 高田 淳子氏(厚生労働省 医政局 歯科保健課 課長補佐)	歯科情報の利活用推進にあたってのこれまでの経緯 や今後の可能性について
2	「口腔診査情報標準コード仕様」のしくみとねらい 玉川 裕夫氏(日本歯科医師会 嘱託、国立大学法人 大阪大学大学院歯学研究科 招へい 教員)	「口腔診査情報標準コード仕様」を含む厚生労働省 標準規格を概観し、医療情報の相互利用について解 説する
3	歯科情報を活用した身元確認の迅速化 ～ 身元確認データベースの構築に向けて 青木 孝文氏(東北大学理事・副学長)	東日本大震災の身元確認における歯科情報の活用 と今後の展望、さらに身元確認データベースの構築に 向けた検討状況など
4	歯科コンピュータへの口腔診査情報CSV出力機能の実装 多貝 浩行氏(日本歯科コンピュータ協会 理事)	口腔診査情報CSV出力機能のレセコンや電子カルテ への実装にあたっての考え方
5	歯科情報を利活用するメリットと期待 井田 有亮氏(東京大学 大学院医学研究科 特任講師)	レセプト情報プラスαの粒度の情報があるとどんな活用 方法があるかを提案

■ 閉会あいさつ（柳川 忠廣氏 公益社団法人日本歯科医師会 副会長）

【申込方法】 QRコードまたはURLよりお申込みください。

▶ <https://questant.jp/q/RCQZPP0F>

開催日が近くなりましたら事務局よりご案内メールをお送りします。

【問い合わせ先】 歯科情報の標準化に関する研修会運営事務局

Tel:03-5213-4091 Mail:dental-support@nttdata-strategy.com



主催：（株）エヌ・ティ・ティ・データ （株）エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

後援：公益社団法人日本歯科医師会